

学校教育

Narashino Municipal
Board of Education

だより

習志野市で当地キャラ
「ナラシンドロ」

令和3年10月27日 発行

No. 124

発行・編集 習志野市教育委員会
☎ 047-451-1151 (代表)

習志野市ホームページ
学校教育だよりはこちら
から御覧いただけます

「郷の会」の方との米作り体験

9月30日(木)実籾小学校では、5年生になると学校の水田で米作りを経験します。この学習では「郷の会」という地域で米作りをしている団体の方々に、毎年大変お世話になっています。



地域の方々と共に収穫の喜びを感じながら、
稲の脱穀をしました！！

124号の表紙は実籾小学校の収穫を終えた稲の脱穀の様子です。「郷の会」は地域の方の協力で始まりました。中央教育審議会の答申では、「令和の日本型学校教育」の構築を目指すために、人との関わり合いや、体験学習を通して「協働的な学び」の実現が必要とされています。新型コロナウイルス感染症拡大防止を受けて、GIGAスクール構想がより一層進み、ICT活用による「個別最適な学び」は飛躍的な充実が可能となっていますが、その一方、人との関わり合いが希薄になってしまうことが危惧されます。実籾小学校のような地域の方々とふれ合い、協働的な学びの場が増えることを期待しています。

《第 1 2 4 号》

「地域とともに歩む学校づくり」

《目 次》

- | | |
|---------------------|-----|
| 「郷の会」との取組み(実籾小学校) | … 1 |
| 食育(キャロット計画) | … 2 |
| GIGAスクール推進プロジェクト | … 3 |
| 通学路点検/全国大会出場速報 | … 4 |
| 英語発表会/表彰 | … 5 |
| 萱選手表敬訪問/習志野市育英資金 | … 6 |
| 特色ある教育活動紹介~大久保東小学校~ | … 7 |
| 新聞配達エッセー最優秀賞/教育長コラム | … 8 |

食に関心をもってもらうために 学校給食センター実践紹介 ～ キャロット計画 ～

学校給食センターでは、各学校の「食に関する指導の年間計画」に取り入れていただけるよう、各月のテーマを決めて、学校と共有し、テーマに沿った献立の作成や食育を推進しています。ここでは実践の一部を紹介いたします。

① 総合教育センターのホームページへ



② 教職員研修用ページをクリック



③ 動画を視聴



令和元年度までの食育指導では、紙の資料を持ち、学校や幼稚園を訪問し、給食時に講話を行っていました。しかし新型コロナウイルスの影響で給食時の訪問が行えなくなりました。そのような状況の中でも何とか子どもたちに「食や給食に関心をもってもらえるような講話を行いたい」と考え、作成したのがパワーポイントの資料です。

令和2年12月から2カ月に1回程度作成しており、各学校から子どもたちの様子や、視聴資料を活用しての感想を聞き、改善しながら続けています。また学校訪問は子どもたちや各学校と直接関係を持ち、実態を把握する目的が大きいので、訪問も続けながら食育を推進していきたいと考えております。

学校給食センター 秋山 純子 係長

彩誉（あやほまれ）



キャロット計画

キャロットポタージュのしあげを見てみよう!!

地産地消



一釜で約1200人分!

視聴資料は5～10分程度で、給食中なども無理なく見られるようになっていきます。今までの講話ではできなかった、調理中の様子なども動画で紹介できるので、**各学校で積極的な御活用をよろしくお願いいたします。**



速報 GIGA スクール推進プロジェクト

新型コロナウイルス緊急事態宣言を受けて、1人1台タブレット端末を使ったオンライン授業が行われました。今回は、オンライン授業の様子や各校の取り組み、工夫等についてお知らせします。

取り組み① 8月20日(金) 谷津南小学校 全校オンライン学級活動



大型モニターに映して
子供たちの様子を確認

校舎の大規模改修工事が夏休み中に計画されていたこと、また、緊急事態宣言が発令されていたことを受けて、谷津南小学校では、8月20日(金)の全校登校日をオンライン形式で実施しました。タブレット端末の小さな画面では、子供たちの表情や様子を把握することが難しかったため、大型モニターとタブレット端末を接続し、画面を大きく映すといった工夫がされていました。

オンライン学級活動では、健康観察と同時に「しりとり」をしながら次の友達につなげていく工夫や、担任の先生から出されたクイズに身振りを使って答える工夫など様々な取り組みが行われており、オンラインでありながら「みんなと一緒に過ごしている」というあたたかい雰囲気が伝わってきました。

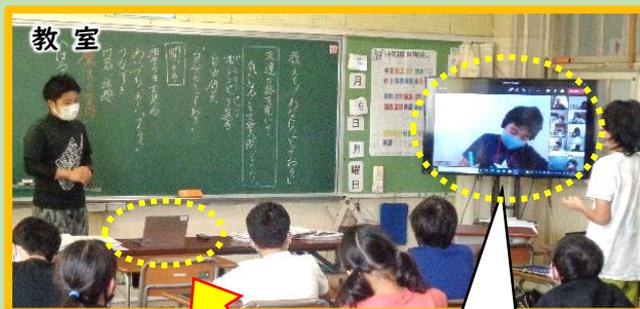
取り組み② 9月6日(月)～10日(金) ハイブリッド型オンライン授業

緊急事態宣言が延長され、2学期始業式は9月6日(月)に変更となり、各学校では感染症対策を十分講じながら学校生活が始まっています。

その中で、登校して授業を受ける児童生徒と自宅でオンライン授業を受ける児童・生徒に分かれてのハイブリッド型オンライン授業が行われました。

先生方に配付された授業用タブレット端末で黒板を映し、オンラインで授業を受ける児童生徒は、家庭に持ち帰ったタブレット端末でその様子を見ながら授業に参加していました。

オンラインで授業に参加している児童生徒に対して、先生方が「質問はありませんか」と聞いたり、大型モニターを通して発表ができる場を作ったりと、教室で授業を受けている児童生徒と同じように参加できていました。



教室

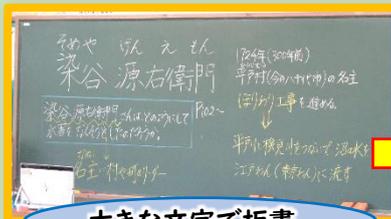
家庭と教室の様子をつなぐ大型モニター



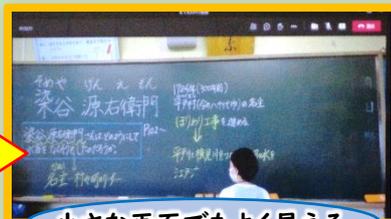
家庭

家庭でオンライン授業に参加

取り組み③ タブレット端末の小さな画面でも見やすい板書の工夫



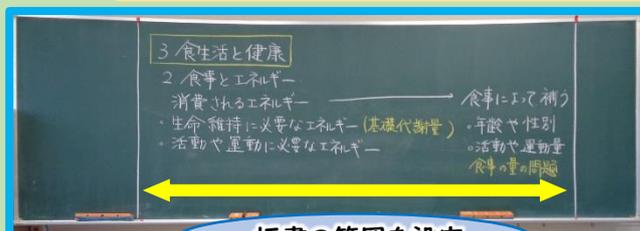
大きな文字で板書



小さな画面でもよく見える

タブレット端末の小さな画面に映し出された黒板の文字は、実際に教室で見るとよりも小さく見えてしまいます。そこで、普段より大きく板書し、オンライン授業に参加している児童生徒もしっかりと見えるような配慮がされていました。

タブレット端末の画面と黒板の縦横比が異なるため、黒板全体を映すと文字が小さく映し出されてしまいます。そこで、黒板に線を引き、タブレット端末に映る丁度よい板書の範囲を設定するなど、受け取り側がとて見やすくなっています。



板書の範囲を設定

子どもたちの安全を守るために！

令和3年6月28日、八街市で交通事故が起きました。このようなことが二度と起こらないよう、各小学校の教頭先生に御協力いただき2度に渡り、「通学路点検」を実施しました。改めて通学路の点検を行うことで、通学路における危険箇所をさらに、確認することができました。

「通学路点検」では、習志野警察、街路整備課、防犯安全課、青少年センター、各校PTAに御協力いただき、それぞれの危険箇所についてどのように改善したらよいか、その場で話し合います。習志野警察や街路整備課は法令等に則り、安全な環境を整備するために、防犯安全課や青少年センターは防犯面の視点から、PTAの方は地域の実態や通学時の様子を加味して、それぞれの立場から、最善の方法を提案し、改善案を決定していきます。

また、各学校の安全指導における留意点についても、参加者全員で確認することで、学校を中心として、地域・保護者・行政が同様の方向性をもつことができるようにしています。

「通学路の点検の実施及び、危険箇所の把握・抽出に当たっての観点」

- ①見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所や、大型車の侵入が多い箇所
- ②過去に事故に至らなくても、ヒヤリハットの事例があった場所
- ③保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所等



道路標示が消えかかっている



歩道が崩れかけている



木が生い茂り、道路標示が見えにくい

通学路緊急点検後、各関係機関に御協力いただき、すでに改善している箇所もあります。今後もたくさんの目で児童生徒の安心・安全を守っていただけるよう、危険箇所への対応をして参ります。よろしくお願いいたします。



問い合わせ 学校教育課 TEL 45 1-1133

NEWS

祝 全国大会出場！



全日本吹奏楽コンクール出場

習志野市立習志野高等学校 習志野市立第五中学校

全日本バンドフェスティバル・マーチングコンテスト出場

習志野市立習志野高等学校 習志野市立第二中学校

習志野市立第四中学校 習志野市立大久保小学校

日本学校合奏コンクール 2021 全国大会グランドコンテスト

習志野市立習志野高等学校

習志野市立第一中学校

習志野市立第五中学校

習志野市立谷津小学校

習志野市立実花小学校

おめでとう！





令和3年度英語発表会



1年振り・市民ホール初の英語発表会

3年生暗唱の部 優勝

「I Have a Dream」



この度は、習志野市英語スピーチコンテスト3年生暗唱の部で優勝することができて、とても光栄に思います。今年の3月に上海から帰国したばかりで、多忙な両親に心配をかけさせないよう、大会の直前まで伝えずに練習を重ねてきましたが、夏休み中の先生方の熱心なご指導のおかげで悔いのないパフォーマンスをすることができました。本当にありがとうございました。また、今回の大会で他の出場者の迫真の演技を見て、驚きを感じることもありました。この経験を生かして、世界という大きな舞台への第一歩となるよう、これからも日々精進していきたいと思ひます。

習志野市立第六中学校3年 余 優佳さん

ALTとのオンライン練習



1年生ペアによる発表



各部門3位入賞者

Recitation Division 3rd Year

第1位	第六中	余 優佳
第2位	第三中	児玉つばさ
第2位	第七中	章 和美

Recitation Division 1st Year

(敬称略)

第1位	第一中	土岐 光喜	
第2位	第一中	三代川 晶	
第3位	第六中	池邊 輝星	余 謙佳

Recitation Division 2nd Year

第1位	第一中	井藤 飛水
第2位	第六中	石川 亜樹
第3位	第一中	秋本 彩名

Speech Division

第1位	東邦中	宮内 彩羽
第2位	第五中	里中 彩乃
第3位	第三中	各務 朱里



プラッツ習志野
platz narashino city



祝 第21回全日本少年少女空手道選手権大会 出場!

第10回関東少年少女空手道選手権大会 第三位
第21回千葉県小学生空手道選手権大会 優勝

「全国大会に行けると思わなかったのでうれしい思いもしましたが、不安にもなりました。関東大会では3位になり、悔しい思いをしました。全国大会では悔しい思いを出し切って優勝できるように、がんばります。」

習志野市立屋敷小学校2年 千葉和奏さん



平成26年度習志野高校卒業生 萱 和磨選手

東京2020オリンピック 獲得!!



「このような会を開いていただき、大変うれしく思っています。(略) 習志野高校でたくさん練習を積み、そのときから夢が目標に変わったところがありました。(略) このオリンピックで得た自信と悔しさの両方を3年間忘れずに、そしてパリ五輪で金メダルを取って、また良い報告ができるよう、これからもがんばっていききたいと思います。」 (萱 和磨選手 より)



育英資金って??

～令和3年度習志野市
育英資金の御案内より抜粋～

市からの修学援助なので、返済の必要はありません!! **注目!**

習志野市教育委員会では、高等学校等に在学し、資質があるにもかかわらず、修学が困難な生徒に対し、育英資金を給与し援助をしています。申請につきましては以下を御覧ください。

育英資金の申請について

- ① 給与期間 1年間(4月から翌年3月まで) ※毎年、申請が必要です。
- ② 選考方法 書類及び作文、面接による選考 ※面接は申請時に日時を決定します。
- ③ 申請期間 申請書類は令和4年3月1日(火)から学校教育課にて配布予定
※申請期間は令和4年4月1日(金)～4月15日(金)予定
(市ホームページからもダウンロード可)

**お願い
します**

育英資金制度の御活用をお願いします!!
品行方正、学業優良な生徒を援助するための制度です。
御活用をお願いいたします!!



令和3年度習志野市育英資金給与決定書交付式

左の写真は、令和3年4月30日(金)に市庁舎で執り行われた令和3年度習志野市育英資金給与決定書交付式の様子です。習志野市民の皆様の大変な税金から給与されるものなので、市長・議長をお招きし、教育長から決定書が一人ひとりに手渡されました。代表者の生徒からは「夢である教師になるため、有効に使わせていただきます。」と答礼がありました。

習志野市立大久保東小学校

児童数：432人 学級数16学級（内自閉症・情緒学級3）

教職員数：32人



学校教育目標 未来を拓く生きる力の育成



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No.8

《学校の歴史》

昭和38年4月に大久保小学校から分離・独立し、開校しました。今年で創立59年目となり、来年度60周年を迎えます。習志野市立小学校で6番目に古い学校です。開校当時は、大久保小学校の校舎を借用していました。昭和39年に鉄筋校舎が竣工され、現在の新校舎へ移転しました。2000本安打を打ち、令和元年に引退した福浦和也選手は、本校の卒業生です。現在の学校周辺は住宅街が広がっていますが、移転当時の学校周辺は畑が広がっていました。



マラソン道路側から見た小学校



建設中の校舎



第1回入学式

《学校の特色》



本校には、子供たちとの合言葉「友だちいっぱい 花いっぱい あいさついっぱい うたいっぱい」があります。これは第13代校長石井正先生が作られた合言葉で、学校や教職員、子供たちに対する願いが込められています。

昭和53年から国語科研究に取り組み、これまで39回の公開研究会を積み重ねてきました。その間研究主題は様々な変遷を経ていますが、「説明的な文章の読み」に焦点化し、研究に取り組んでいます。今年度は、研究主題「思考し表現する力を育む国語科学習」を設定し、授業実践を通して、確かな読みにつながる指導の工夫の在り方について追究しています。

現在、サッカー部、ミニバスケット部、合唱部と三つの部活動が活動を行っています。合唱部は、一昨年度の令和元年に第86回NHK全国音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクールに出場し、銅賞に選ばれました。



国語科授業研究の様子



NHK全国音楽コンクール
関東甲信越ブロックコンクール



習志野市ゆかりの食材を使用

《学校給食》

本校は自校給食を実施しており、市職の調理員が給食を作っています。献立は栄養教諭が栄養のバランスを考え、学校行事や季節の行事と結び付けてたてています。1月の給食週間では、「タイムスリップ献立」「校長先生のリクエスト献立」「習志野市の歴史献立」等趣向を凝らした給食が登場します。家庭科の学習と連携し、6年生が考えた献立も人気です。

《おわりに》

「友だちいっぱい 花いっぱい あいさついっぱい うたいっぱい」を合言葉に、これまでの伝統を継承しつつ新たな時代へ柔軟に対応できるよう、保護者・地域の皆様と協力してより良い学校となるよう努力いたします。
(文責 徳武 義裕)



谷津南小学校卒業生 焼山美羽さん

焼山さんは、日頃から読書が大好きで、たくさんの本に触れているそうです。「自分の知らない世界を、本をとおして知ることができる」と、読書に親しむ理由を教えてくださいました。また、自分の想いを書くことに関して「自分の伝えたいことは何かを一番大切にしています。(小中学生には)機会がある時には積極的に書いて表現することにチャレンジしてほしい。」と、小中学生の学びにつながる心温かいメッセージも添えていただきました。

【受賞作品】 ～ 思い出を胸に抱いて ～



フリージア、かすみ草、スイートピー……。我が家には、ある中学時代の出来事が隠されている。それは意識をなくして倒れた下校途中のこと。優しい新聞配達員の方に私は助けられた。当日、名前を聞かずに別れた配達員さん。お礼をどう伝えるか家族と悩んだ末に、「ありがとうの気持ちやね」が口癖の祖母の案を実行した。感謝の旨を記したメモに庭で育てた花を添えてポストのところに貼ると

この広告があるのを見つけてからはそれを参考に花を選んで、何十日も直接会うことを願って待ち続けた。そのかいあって、ついに会える機会が設けられた。矢先にご病気で亡くなったと知らせが届いたのだ。そのうして、読み終わった新聞のそばに花を飾るようになった。命を救ってくれた恩人に深い感謝と追悼の意を込めて。私はこの思い出を胸に抱いて生きていく。配達員さんの親切を忘れないと誓いながら。

～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

本年1月8日の緊急事態宣言発令以降、まん延防止措置の発令を含めれば、ほとんどの期間が感染拡大防止のための規制の下にありました。10月1日からは久しぶりに「発令」の文字はありませんが、完全に日常が戻ったわけではありません。感染症に気をつけながらの生活、まさに「ウィズ・コロナ」の時代を迎えたわけです。そのような中、文化・教育活動は着々と歩みを進めています。市民を対象とした習志野市美術展覧会、「市展」では、素晴らしい作品が出されたことはもちろん、展示方法に工夫がなされ、充実した展覧会となりました。授賞式にも多くの方にご参加いただき、私も大変嬉しい気持ちになりました。また、児童生徒を対象とした虫歯予防図画、読書感想文などのコンクールでは、多くの関係者や審査員の先生方のお力添えで優秀作品が選ばれ、表彰や上位コンクールにつながられています。さらに、音楽活動は全国大会を目指した活動が再開されており、第五中・習志野高が全日本吹奏楽コンクールへ、大久保小・第二中・第四中・習志野高が、全日本バンドフェスティバル・マーチングコンテストに駒を進めることになりました。日本学校合奏コンクールを含めると、本市から8校が全国大会に出場する快挙です。一方で中学校のスポーツは、県の新人戦が中止となってしまいました。生徒にとっての目標がなくなってしまうことは残念に思います。ただ、本市においては、校長会と各競技専門部の先生方が創意工夫をして、独自に市内大会を開催しています。「ウィズ・コロナ」である以上、感染症の拡大防止が最優先ではありますが、英知を結集して日常の教育活動に近づけることが我々の使命でもあります。

(教育長 小熊 隆)